

2017年度 和光大学重点事業活動報告書

2018年 5月 28日

和光大学地域連携研究センター
センター長 小林 猛 久 殿

代表者氏名 高坂 康雅

事業の名称 大学内における不登校児童生徒に対する継続的支援の効果に関する検討							
研究目的 和光大学内で開室されている適応支援室「いぐお〜る」において行っている不登校児童・生徒の支援について、特に2年以上の通室をしている長期間通室生に注目して、継続的な支援のあり方について検討することを目的とした。							
事業所属メンバー (氏名の右の欄に、本学専任教員=教、共同研究員=共と記入してください。)							
高坂 康雅	教						

研究活動の経過 (800字以内) (打ち合わせ、報告、招待講演、調査旅行などの月日、テーマ、報告者、目的地などを記入してください。)
<p>前年度から引き続き、2017年4月より、毎週火曜日9:30から15:30の6時間、適応支援室「いぐお〜る」を開室する。通室生は、2017年4月時点で、中学3年生1名、中学2年生3名、小学6年生1名であったが、その後、2018年3月末までに中学1年生3名、小学4年生2名が増える。スタッフは、代表(高坂)に加え、大学院修了生2名、研究生3名、大学4年生3名であり、2018年3月まで継続的に対応・支援を行った。特に、中学2年生3名のうちの2名および小学6年生は1年以上の長期通室による支援の対象となり注視して支援を行った。主には、行動観察、箱庭の実施、母親との継続的な面談などを行った。</p> <p>また、通室生および町田市内の不登校児童生徒、不登校支援について、町田市スクールソーシャルワーカーと継続的に情報交換を行い、地域(町田市)における適応支援室「いぐお〜る」の位置づけや支援のあり方について、協議・認識の確認を行った。</p> <p>2017年5月には、町田市内にあるフリースクール「八洲学園みのり中等部」の教員が適応支援室「いぐお〜る」を訪問・見学をし、町田市の中学校における不登校や不登校支援の状況、不登校支援における適応支援室「いぐお〜る」の位置づけや要望などについて情報交換を行った。また、2018年2月には「八洲学園みのり中等部」で行われた不登校セミナーに代表(高坂)が出席し、町田市内の不登校支援の現状などについて意見交換を行った。</p>

研究成果の概要（1200字程度）（どのような方法で調査、研究を行ない、どのような新知見が得られたか。またそれを今後どのように活かすことができるか、など）

本研究では、継続的な支援を行うことを通して、支援の効果や支援における留意点などについて、スタッフとの意見交換などを通して確認した。主な点は以下の通りである。

(1)長期的な通室によって、適応支援室「いぐお〜る」の開室日とそれ以外の曜日の使い方について、一定のペースができるようになってきている。通常、完全不登校状態になると、曜日感覚がなくなり、1週間の生活リズムを形成することが困難になる。毎週火曜日に適応支援室「いぐお〜る」に通室することにより、1週間の生活のメルクマールとなり、大幅な生活リズムの乱れを抑制できていることが確認された。なかには、火曜日に適応支援室「いぐお〜る」に通うために、他の曜日には在籍校に登校することを決めている通室生もあり、週1回の開室が、不登校児童生徒にとっての重要なものとなっていることが明らかとなった。

(2)通室が長期化することにより、学生スタッフとの心理的な距離が近くなり、言葉遣いが乱暴になったり、身体接触が頻繁にみられるようになってきた。また、新たに入ってきたスタッフに対して、自身の方が適応支援室「いぐお〜る」のことをよく知っているために、優位に立とうとする行動も確認された。長期通室による慣れによるものと考えられるが、このような言動に対して、適応支援室「いぐお〜る」の方針・理念に沿って、どのように支援をしていくかを検討することが、適応支援室「いぐお〜る」の雰囲気や、通室生の社会的なコミュニケーション能力の向上のためにも、必要であると考えられた。

(3)通室が長期化することにより、活動内容がマンネリ化し、適応支援室「いぐお〜る」への通室に対する意欲の低下を感じさせる発言が見受けられた。新たな通室生やスタッフが加入することにより、一定程度マンネリ化を抑制できると考えられるが、長期通室生が適応支援室「いぐお〜る」への通室に対するモチベーションを高い水準で維持できるような働きかけや試みが必要であることが確認された。

成果の発表文献（標題、著者名、雑誌名、巻号頁、発行年等）

（発行年は厳密に2017年4月～2018年3月に刊行されたものだけに限らず若干前後のものも含めてください）

2017年度中の発表はなし。現在、今年度の知見も踏まえ、書籍刊行を計画中。

※ 提出期限=2018年4月27日（金） 提出先=企画室企画係（奥名・岡本）

※ 用紙が足りない場合は別紙を添付してください。

※ できるだけこのデータに入力いただき、e-mailで送信してください。

※ kikaku@wako.ac.jp（企画係）